

| | | |
|--|---------------------------------------|----------------|
| 科目名 老年看護学実習Ⅱ 時間割表記名 老年看護学実習Ⅱ | 配当時期 3年次 単位数 2単位 時間数 90時間(12日間) | 講義担当者 市場 美織 |
| 事前学習内容 実習要項参照 | | |
| 授業目標 【実習目的】 1. 高齢者が疾病や障害を持ちながら日常生活に適応し、自立した生活を送ることができるために必要な看護基礎能力が習得できる。 【実習目標】 1. 健康障害のある高齢者を身体的・精神的・社会的・霊的に理解できる。 2. 健康障害のある高齢者の二次的合併症を予防する看護が実践できる。 3. 健康障害のある高齢者の QOL の維持向上に向けた看護が実践できる。 4. 高齢者及び家族の思いを尊重した看護について理解することができる。 5. 継続看護の必要性を理解し、他部門・チーム間の連携や社会資源の活用について理解する。 6. 保健医療福祉チームの一員として自覚し、専門職業人として望ましい態度がとれる。 | | |
| 教育目標との関連 1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解する。 2. 人々が生活するうえでの健康の意味を、環境との相互作用の観点から理解する。 3. 対象の生活をよりよくするために、科学的根拠に基づいた看護が実践できる基礎的能力を養う。 4. 人々の多様な価値観を尊重し、専門職業人として倫理観に基づいた看護を実践できる能力を養う。 5. 保健医療福祉制度とそれに関わる職種の役割を理解し、チーム医療を実践するための基礎的能力を養う。 | | |
| 授業の概要 本実習では、高齢者が疾病や障害を持ちながら日常生活に適応し、自立した生活を送ることができるための援助について学ぶ。 健康障害を持った高齢者の健康回復や健康の維持・増進に関わる実習となるため、一人の患者を受け持ち、看護過程を展開し、患者の適応を促進する看護の実践学ぶ。 入院中に退院後の生活の再構築を目指すため、今まで生きてきた生活背景や価値観を捉え、高齢者を支える家族についても家族役割の変化や心理変化を理解し、症状の回復や日常生活の維持に向けた看護を行っていく。そのため、身体・精神・社会・霊的側面を整理しながら、患者のその人らしさ、QOL をふまえた看護など高齢者一人ひとりの個別性についても学ぶ。 以上の内容について、健康障害を持った高齢者の看護過程の展開を次のいずれかの診療科病棟(循環器病棟、感覚器病棟、脳神経内科・外科病棟)で実践する。 | | |
| 評価 ルーブリックに沿って評価する。 | | |
| 使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 | | |

- ②系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論 医学書院
 - ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院
 - ④系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕 脳神経 医学書院
 - ⑤系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔12〕 皮膚 医学書院
 - ⑥系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔13〕 眼 医学書院
 - ⑦系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔14〕 耳鼻咽喉 医学書院
 - ⑧松木光子 監訳 ザ・ロイ適応看護モデル 第2版 医学書院
 - ⑨NANDA-I 看護診断 定義と分類 医学書院
- 他 既習のテキストを活用する